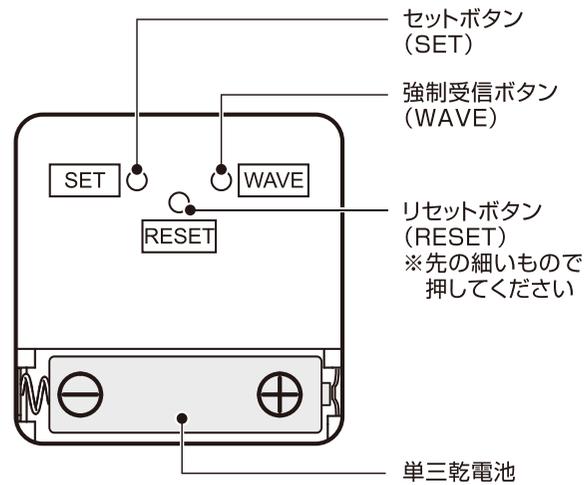


各部の名称（時計裏面）

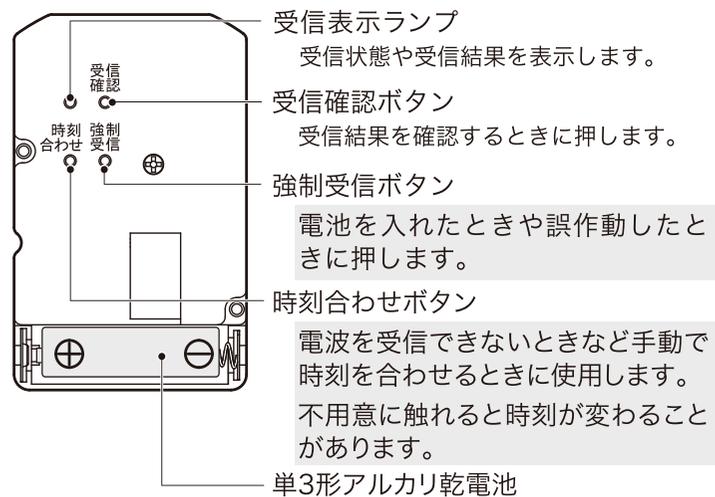
お買い求めいただいた製品と同じタイプのものでご参照ください。

Aタイプ



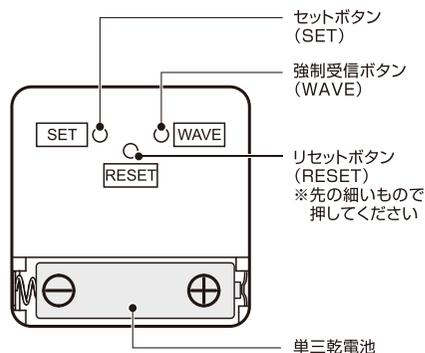
Bタイプ

(裏面操作部)



時刻設定のしかた -Aタイプ-

■各部の名称 ※裏面操作部



- ①電池を⊕⊖の表示に合わせて正しく入れる
※逆向きに入れると時計が動きません。
 - ②リセットボタンを押す(※先の細いもので押してください)
針が早送りで動き、12時の位置で停止し、電波の受信を開始します。
電波受信中は全てのボタン操作をしないでください。
 - ③受信結果を確認する(最短3分、最長16分後)
※状況や環境により結果までの時間に差が出ます。
確認は必ず16分後にしてください。
電波が受信できた場合、針が早送りで動き出し、現在の時刻を表示します。
- 受信できなかった場合
針はその位置(12時)から動作を開始します。
→ **Ⓐ 電波を受信できない場合**

Ⓐ 電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

夜間は比較的電波の状況が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。また、受信を失敗した場所でも電波状態が良くなった時に自動受信により電波を受信できる場合があります。

●場所を変える

- ①電波の受信しやすい窓際や、送信所になるべく時計の表面、または裏面が向くように設置します。(取扱説明書の日本地図を参照)
- ②強制受信ボタンを約3秒長押しして受信をしてください。

※受信できなかった場合 → **ⓑ 手動での時刻合わせ**

ⓑ 手動での時刻合わせ

以下の操作は電波受信中(針の停止中、針の早送り中)には行わないでください。

セットボタンを長押し(約3秒間)すると、針が動き出します。そのまま押し続けて時刻を合わせてください。

※電波受信機能がONの時は、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。→ **Ⓒ 自動受信について**

※電波受信機能がOFFの時や、非受信の時はクォーツ時計として動作します。→ **ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作**

Ⓒ 自動受信について

電波時計は毎日、最大7回の受信を自動で行います。

受信時刻/2時、3時、6時、10時、14時、18時、22時 各時間帯の16分40秒から受信を行います。

ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

電波受信機能をOFFにすることで、クォーツ時計としてご使用いただけます。以下の操作は電波受信(針の停止中、針の早送り中)には行わないでください。

●電波受信機能をOFFにする

- ①リセットボタンを押して20分ほどお待ちください。
- ②強制受信ボタンとセットボタンを同時に長押し(約5秒間)すると、電波受信機能OFFになります。この設定の後は自動受信・強制受信ともに電波受信を行いません。セットボタンを押して時刻を合わせてください。→ **ⓑ 手動での時刻合わせ**

●電波受信機能をONにする

リセットボタンを押してください。
自動受信を行い、電波の受信に成功すると現在の時刻を表示します。

【強制受信とリセットの違い】

●強制受信ボタン

このボタンを長押し(約3秒間)すると、全ての針が12時の位置に停止し、電波の受信を開始します。電波受信機能がOFFの時は強制受信ボタンを押しても機能しません。場所を移動した時にお使いください。

●リセットボタン

このボタンを押すと、時刻が12時にリセットされ、全ての針が12時の位置に停止し、電波の受信を開始します。電波受信機能がOFFの時は電波受信機能がONになり、受信を開始します。電池を交換した時や誤受信した時にお使いください。

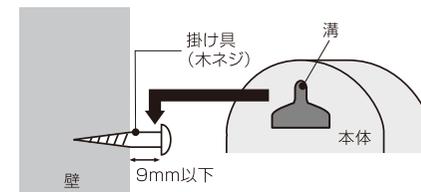
時計の掛け方について

▶ 木の厚い壁、木の柱に掛ける場合

付属の掛け具(木ネジ)をご使用ください。
掛け具(木ネジ)は垂直な壁面からネジの残りが9mm以下になるようにねじ込んで、時計を掛けてください。

▶ 石膏ボード、コンクリート等の壁に掛ける場合

付属の掛け具(木ネジ)は使用しないでください。
壁の材質、構造に合った「3kg」まで耐えられる市販の掛け具(吊り金具など)をご使用ください。



お手入れについて

【プラスチック製の時計の場合】

枠を拭く時は、湿った柔らかい布で拭いてください。
汚れがひどい時は、水で薄めた中性洗剤を布に少量つけて拭いてください。

【木枠・金属枠の時計の場合】

汚れや埃を取る時は、柔らかい布で乾拭きしてください。

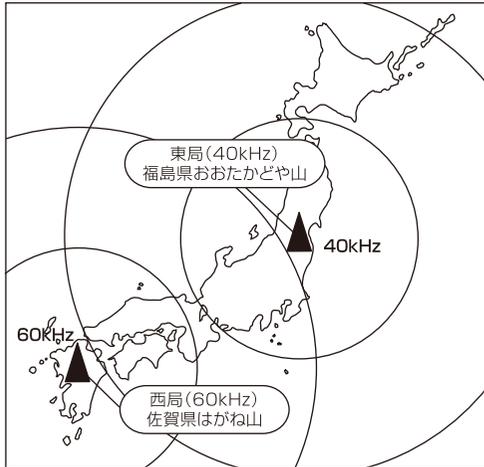
※ベンジン・シンナー・アルコール各種、ブラシなどは使用しないでください。変色、変形、傷の原因になります。
※殺虫剤・ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変形、変色のおそれがあります。
※お客様が分解しますと修正不可能になる場合やケガのおそれがあり大変危険です。
また、保証の対象外となりますのでご注意ください。

電波時計について -Aタイプ-

RC_190826

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構(NICT)によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2ヶ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000Kmとされています。



※気候条件・置き場所・時間帯・地形・建物によっては受信できないことがあります。電波受信の可能地域はあくまでも目安です。図の範囲内でも電波を受信できない場合もあります。

〈正しい電波受信〉

受信が困難な場合は受信条件の良い場所に本機を移動させてください。通常の機能が作動して正しい時刻を表示するようになります。



電波を受信しない場合は、窓際まで行き、本機の正面を電波送信所に向かい合うように置くと、受信しやすくなります。

使用場所について

本機は電波を受信する時計です。以下のような場所では電波を受信しにくくなりますのでご注意ください。



- ビルなどの地下
- 高電線、架線の近く
- 金属製雨戸やブラインドの近く
- 自動車・電車・飛行機などの乗り物の中
- テレビなどの家庭電化製品や、パソコンなどのOA機器の近く
- 工事現場・空港・交通量の多いところなど電波障害の起きるところ
- 金属板の上や山などの電波を遮断するところ
- 朝や夕方時間帯や雨天のとき

下記のような場所では使用しないでください。機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。

また本商品は業務用ではありません。



- 温度が40℃以上になる場所や直射日光の当たる場所、屋外や暖房器具などの熱風や火気に近いところ
- 温度が0℃以下になるところ。プラスチック部品や電池劣化が起こることがあります。
- 塵・ホコリが多いところ。空気中に舞上がったゴミが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや強い磁気のあるところ。磁力の影響で進みや遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室などの湿気の多いところ。また、水がかかる場所や加湿器の蒸気が直接当たるようなところ
- 振動のあるところや不安定なところ。
- 工場・台所など多くの油を使用するところ。霧状になった油分が機械の歯車に付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁や敷物などの上。壁や敷物および時計を傷める場合があります。

安全上のご注意 -必ずお読みください-

注意 このマークは表示内容と異なった使い方をした時に、人的障害または物的障害のみが発生する可能性があります。
CAU. 想定される内容です。

警告 このマークは表示内容と異なった使い方をした時に、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
WAR.

注意 CAU.

- ◆分解・改造はおやめください。
- ◆強い衝撃を与えないでください。
- ◆不安定な場所に設置しないでください。

※落下や転倒により、ケガおよび器物を破損する恐れがあります。

電池のご注意 -正しくお使いいただくために-

※充電電池や、一部の高性能電池は、本機の使用には不向きな場合があります。

注意 CAU.

- ◆電池を使い切った場合は、長時間放置せずに、すぐに新しい電池に交換してください。
- ◆直射日光や高温多湿の場所を避けて保管してください。
- ◆製品により電池を付属して出荷しております。この電池は動作確認用となっております。時計の動作を確認した後は、お早めに新しい電池に交換してください。

警告 WAR.

- ◆電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
- ◆電池を飲み込んだ場合はすぐに医師と相談してください。
- ◆分解や加熱、火に入れるなどしないでください。
- ◆プラス+とマイナス-の向きを正しく入れてください。
- ◆ネックレスなどの金属製のものと一緒に携帯、保管しないでください。
- ◆電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚や衣服に付いたときは、大量のきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受けてください。失明やケガなどのおそれがあります。

製品仕様

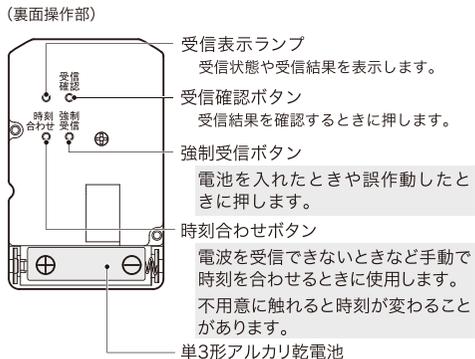
- 時計精度 / 平均月差±30秒以内(常温での使用時)
※電波受信による時刻修正を行わない場合
- 使用温度範囲 / 0℃~+50℃
- 使用電池(時計用) / 単3形 アルカリ乾電池 1個
- 受信電波 / 標準電波JJY
周波数 / 40kHz、60kHz(自動選局)
- 自動受信回数 / 最大7回

※機種により、3針タイプ(秒針・分針・時針)と2針タイプ(分針・時針)があります。
この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。
また、印刷による制限のため本書の図が実際の表示と異なる場合があります。弊社はこの時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任は負いません。
この取扱説明書の製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

商品についてのアフターサービスやお問い合わせは

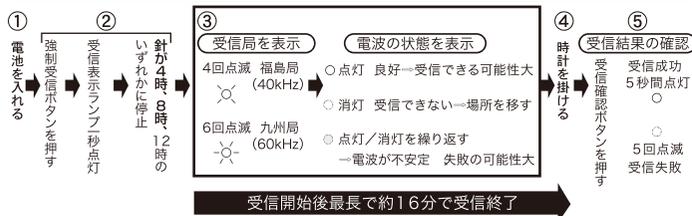
株式会社インターフォルム 〒650-0041 神戸市中央区新港町5番1号 TEL:078-392-8423 FAX:078-392-8427

各部の名称 -Bタイプ-



使用方法

受信の流れと受信表示ランプの見方



①電池を入れる

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れます。
電池の⊕⊖を逆向きに入れると、時計は動きません。

②強制受信ボタンを押す

受信表示ランプが点灯して、針が12時、4時、8時のいずれかに早送りで移動して、受信が終わるまで停止しています。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。

③受信しやすい場所を探す。

まずはその場で受信表示ランプが点灯していることを確認します。
▶受信可能であれば受信表示ランプが点灯し、受信局が表示され、その後電波の状態が表示されます。
▶電波の受信できない所では、受信表示ランプが点灯しません。
場所や時間帯を改めて試してください。☞ **電波を受信できない場合** へ
※同じ部屋の中でも、電波の状態が異なることがありますので、時計の位置を変えてみてください。

④時計を掛ける

時計を設置場所に確実に掛けてください。

⑤受信開始から16分後に受信結果を確認する

受信が終わると針が早送りで移動して時刻を示します。
受信確認ボタンを押してすぐに離すと、受信表示ランプが受信結果をお知らせします。
5秒間点灯 : 受信成功 (正しい時刻)
5回点滅 : 受信失敗 (不正確な時刻) ☞ **電波を受信できない場合** へ
2回点滅 : 受信機能がOFF 消灯したまま : 受信中
○受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
○受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

Ⓐ 電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく

一般に夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
▶受信表示ランプが点灯しない場所でも、夜間や電波状態が良くなった時に受信する事があります。

●場所を変える

電波の受信しやすい窓ぎわで、取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くように設置し、強制受信ボタンを押して受信を開始してください。
▶電波を受信できる場所が見つからない場合は、手で時刻を合わせてしばらく様子を見てください。☞ **手動での時刻合わせ** 参照。

※電波時計は最少1回/日、最大6回/日の頻度で受信を行います。

受信時刻 : 2時,3時,4時,12時,13時,14時

各時間帯の16分20秒から最長16分間受信を行います。受信動作は受信が成功するまで行われ、1回受信出来ればその日の受信動作は行われません。

電波を受信できないときや意図的に時刻を変えたい場合は、手動で時刻を合わせることができます。

手動での時刻合わせ

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

☞ **電波受信機能のON/OFF操作** 参照。

時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押しつづけると早送りで動きます。

○時刻合わせボタンを押しつづけると秒針は12時位置に停止します。

秒針の動きについて

時刻合わせボタンを離したときに、ゼロ秒に設定されます。

秒針が12時位置に止まっていないときは、早送りして現在時刻の秒位置まで移動します。

Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

■電波受信機能をOFFにするには (受信機能を無効にするには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



押す 点灯 押す 点灯 押す 点灯 押す 消灯
(受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください)

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには (有効にして受信を開始するには)

工場を出荷するときには、ON (有効) になっています。

OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意

※電池を取り出しても設定を長い時間保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

安全上のご注意 ~必ずお読みください~

電池の使い方を間違えると電池が発熱・液漏れ・破裂してケガや機器の故障の原因となります。
「注意」「警告」の記載事項を必ず守って下さい。

注意

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「人的傷害または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

警告

この表示の欄は表示内容と異なった使い方をしたときに「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意

- 分解・改造はおやめ下さい。
- 強いショックを与えないで下さい。
- 不安定な場所には時計を設置しないで下さい。
- ※落下や転倒により、ケガおよび器物を破損する恐れがあります。

電池について

注意

- 種類の違う電池は混ぜて使用しないで下さい。
- 電池交換する際は新しい電池とすべて交換してください。
- 使用済みの電池は、すぐに機器から取り出して下さい。
- 長時間使用しない場合は電池を機器から取り出して下さい。
- 付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。
- 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けたりしないで下さい。
- 直射日光や高温多湿の場所を避けて保管して下さい。
- 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換することをおすすめします。また時計を使わないときは電池をすべてはずして下さい。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておく他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり傷めたりする恐れがあります。

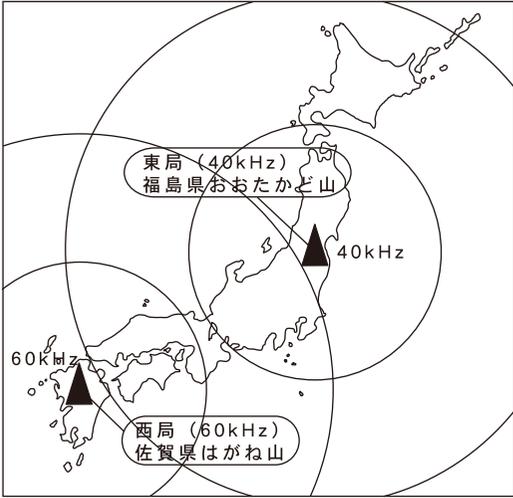
警告

- 電池は幼児の手の届かないところに保管して下さい。
- 電池を飲み込んだ場合はすぐに医師と相談して下さい。
- 分解や加熱、火に入れるなどしないで下さい。
- +の向きを正しく入れて下さい。
- +をショートさせたり、ネックレスなどの金属製の物と一緒に携帯、保管しないで下さい。
- 電池から漏れた液が目に入ったり、皮膚や衣服に着いたときは大量のきれいな水で洗い流しすぐに医師の診断を受けて下さい。失明やケガなどの恐れがあります。

電波時計について -Bタイプ-

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構（NICT）によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2ヶ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



※気候条件・置き場所・時間帯・地形・建物によっては受信出来ないことがあります。電波受信の可能地域はあくまでも目安です。図の範囲内でも電波受信出来ない場合もあります。

お手入れについて

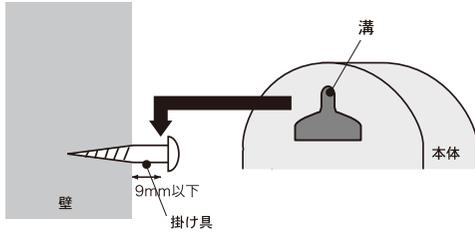
- ベンジン・シンナー・アルコール各種、ブラシなどは使用しないで下さい。変色、変形、傷の恐れがあります。
- 殺虫剤・ヘアースプレーなどがつかないようにして下さい。変色変形の恐れがあります。
- プラスチック製の時計の場合、枠を拭くときは湿ったやわらかい布で拭いて下さい。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭いて下さい。
- 木枠・金属枠の時計の場合、汚れやほこりを取るときは柔らかい布で乾拭きして下さい。

※お客さまが分解しますと修正不可能になる場合やケガの恐れがあり大変危険です。また、保証の対象外となりますのでご注意ください。

時計の掛け方について

▶ 木の厚い壁、木の柱に掛ける時

- 添付の掛け具（木ネジ）をご使用ください。掛けネジは垂直な壁面からネジの残りが9mm以下になるようにねじ込んで時計を確実に掛けてください。



▶ 石膏ボード、コンクリート等の壁に掛ける時

- 添付の掛け具（木ネジ）は使用しないでください。壁の材質、構造に合った「3kg」まで耐えられる、市販の掛け具（吊り金具）をご使用ください。

使用場所について

本機は、電波を受信する時計です。正常に機能させるために、以下のような場所では電波受信しにくくなりますのでご注意ください。



- ビルなどの地下。
- 高電線、架線の近く。
- 金属製雨戸やブラインドの近く。
- 自動車・電車・飛行機などの乗り物の中。
- テレビなどの家庭電化製品や、パソコンなどOA機器の近く。
- 工事現場・空港・交通量の多いところなど電波障害の起きるところ。
- 金属板の上や山などの電波を遮断するところや、朝夕の時間帯や雨天の時。

下記のような場所では使用しないで下さい。機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こす事があります。また本商品は業務用ではありません。

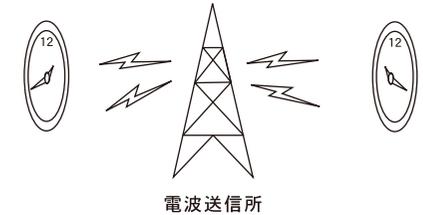


振動や衝撃の激しい場所
浴室などの湿気が多い場所
強い磁気のある場所
ほこりの多く発生する場所
温度が40°C以上になる場所
温度が0°C以下になる場所

- 温度が40度以上になる所や直射日光の当たる場所。屋外、暖房器具などの熱風や火気の近い所。
- 温度が0度になる所。プラスチック部品や電池劣化が起こる事があります。
- 塵・ほこりが多い所。空気中に舞上がったゴミが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーの側や強い磁気のある場所。磁力の影響で進み、遅れを生じたり時計が止ることがあります。
- 浴室など湿気が多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 振動のある所。不安定な場所。
- 工場、台所など多くの油を使用する所。霧状になった油分が機械の歯車に付着し、時計が止まる事があります。
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物および時計を傷める事があります。

〔正しい電波受信〕

受信が困難な場合は、受信条件の良い場所に本機を移動すれば通常の機能が作動して正しい時刻を表示するようになります。



本機の正面を電波送信所に向かい合うように置くと、受信しやすくなります。

- 電波を受信しない場合は窓際まで行き、電波送信所の方を向かせ再度電波の受信をしてください。

製品仕様

- 時計精度:平均月差±20秒以内（常温での使用時）
（電波受信による時刻修正を行わない場合）
- 表示精度:±1秒以内
（電波受信による時刻修正の直後）
- 使用温度範囲:0°C~+40°C
- 使用電池（時計用）:単3形アルカリ乾電池 x 1個
電池寿命（時計用）:約9ヶ月
- 受信電波:標準電波JJY
周波数:40kHz/60kHz（自動選局）
- 自動受信回数:最多 6回/1日、最小1回/1日

※付属の電池は、工場出荷時に付けられたモニター用電池ですので製品仕様の表示より寿命が短い場合があります。

※機種により、3針タイプ（秒針・分針・時針）と2針タイプ（分針・時針）があります。

株式会社 インターフォルム神戸市中央区新港町5-1
TEL:078-392-8423 FAX:078-392-8427

この取扱説明書の内容は予告なしに変わることがあります。印刷による制限のためにこの取扱説明書の図が実際の表示と異なる場合があります。弊社はこの時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任は負いません。この取扱説明書の製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。